

登別市総合計画第3期基本計画 目標への接近度を図る指標の進捗状況（令和4年度）

平成28年度にスタートした登別市総合計画第3期基本計画（以下「基本計画」という。）では、計画の実現に向けた指標として、数値目標を設定しています。

目標年度である令和7年度の数値に対する現在の実績を把握し、今後の計画推進に役立てるため、次のとおり令和4年度の進捗状況を取りまとめました。

1. 評価基準について

令和4年度の効果検証における評価基準は次のとおりとしています。

- 『達成』・・・実績値が「目標値（令和7年度）」を上回っているもの。
- 『進展』・・・実績値が「目標値（令和7年度）」を下回っているが、基準値を上回っているもの。
- 『継続』・・・実績値が基準値と同程度のもの。
- 『遅延』・・・実績値が基準値を大きく下回っているもの。
- 『評価なし』・・・実績値がないもの。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、例年の実績値から大幅に減少しているものもありますが、原則、上記の評価基準に準ずることとする。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、事業の中止もしくは休止としており、実績値が算出できないものは評価なしとする。

2. 令和4年度の目標への接近度を図る指標の進捗状況

目標値を上回った『達成』が32項目（29.6%）、目標値は下回っているが、概ね基準値を上回っている『進展』が27項目（25.0%）で、これらを合わせると59項目（54.6%）となり、全体の数値目標のうち5割程度の項目が順調に進んでいます。

しかし、実績値が基準値と同程度の『継続』が7項目（6.5%）、実績値が基準値を大きく下回った『遅延』が37項目（34.3%）となっております。

新型コロナウイルス感染症の影響により順調に進んでいた取組が『継続』や『遅延』となったものもありますが、目標達成に向けて更なる取り組みの強化・充実を図ってまいります。

【章ごとの進捗状況】 ※構成比は項目毎に小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

区分	指標数	達成	進展	継続	遅延	評価なし
第1章 やさしさと共生するまち	28	9 (32%)	7 (25%)	2 (7%)	9 (32%)	1 (4%)
第2章 自然とともに暮らすまち	23	7 (30%)	8 (35%)	1 (4%)	7 (30%)	0 (0%)
第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	15	5 (33%)	2 (13%)	1 (7%)	4 (27%)	3 (20%)
第4章 調和の中でふるさとを演出するまち	14	4 (28%)	7 (50%)	1 (7%)	2 (14%)	0 (0%)
第5章 豊かな個性と人間性を育むまち	16	5 (31%)	2 (13%)	1 (6%)	7 (43%)	1 (6%)
第6章 担いあうまちづくり	12	2 (17%)	1 (8%)	1 (8%)	8 (67%)	0 (0%)
合 計	108	32 (29.6%)	27 (25.0%)	7 (6.5%)	37 (34.3%)	5 (4.6%)

◆各章別の進捗状況

第1章	やさしさと共生するまち
<p>28項目中、「ひとり親家庭等自立支援給付事業利用者数」、「健康診査の受診率」、「若い世代の健康診査の受診率」、「市が妊婦の身体的・精神的・社会的状況について把握している割合」、「麻しん風しんワクチン予防接種（I期）の接種率」、「救急医療の受入時間」、「歯科救急医療の受入時間」、「救急救命士の人数」、「子育て支援拠点の設置数」の9項目で『達成』となったほか、「小地域ネットワークの参加町内会等の数」、「介護や支援を必要としない自立高齢者の割合」、「相談支援事業所数」、「日中活動系サービス利用者数」、「生活困窮者自立支援法に基づく相談件数」、「特定健康診査の受診率」、「乳がん検診受診率」の7項目が『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「老後に不安を持っている人の割合」、「子育て世代を対象に「食」を中心としたへるしー親子相談への参加人数」、「大腸がん検診受診率」、「BCG予防接種の接種率」、「子育てに不安と負担を感じる保護者の割合」、「児童相談所等への送致児童数」、「新規要保護児童数」、「フォーラム（懇談会・プラタナス含む）、出前講座の参加者人数」、「民間シェルター（DV被害者の緊急避難施設）利用者の市民人数」の9項目については基準値を下回っています。</p> <p>「子育てに不安と負担を感じる保護者の割合」や「老後に不安を持っている人の割合」が大きく、様々な要因によるものであると考えますが、今後は、子育てに係る市民ニーズ調査を行うことにより、子育てのどの分野における不安と負担を感じているのか把握に努めるほか、老後の不安解消につなげるために若い世代からの各種健（検）診の受診機会の提供を含め保健事業の取組を進めていきます。</p>	
第2章	自然とともに暮らすまち
<p>23項目中、「環境調査における環境基準を超えた項目」、「家庭系ごみの市民1人・1日当たりの排出量」、「最終処分場の年間埋立て量」、「火災発生件数」、「交通事故件数」、「消費生活相談の解決率」、「市内の犯罪発生件数（年間）」の7項目で『達成』となったほか、「事業系ごみの年間排出量」、「不法投棄件数」、「し尿の年間汲み取り量」、「汚水処理人口普及率」、「水洗化率」、「非常持ち出し品を備えている人の割合」、「災害時の避難場所や連絡方法などを家族と事前に決めている人の割合」、「消費生活相談件数」の8項目が『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「環境保全活動に取り組む人数」、「環境家計簿の活用に取り組む世帯の割合」、「自然環境学習指導者の人数」、「キウシト湿原における観察会等の参加者数」、「住宅用火災警報器設置率」、「交通事故死亡者数」、「消費生活展の参加者数」の7項目については基準値を下回っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数は基準値を上回ることができませんでした。観察会や生活展などは、人数制限や展示コーナーの制限を設けながら実施することができ、参加者数は前年度より増加傾向にあります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へ移行したことから、制限のない生活展等を開催し、多くの市民に自然環境や消費生活に関心を持ってもらえるよう普及啓発に努めます。そのほか、環境保全への意識醸成を図るため、関係団体と連携し、環境講演会やリサイクルまつり等の機会を通じた周知活動やコロナの影響で自粛していた対面による住宅用火災警報器の設置周知活動などにも努めます。</p>	

第3章	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
<p>15項目中、「法人市民税納付対象企業数」、「起業件数」、「有効求人倍率」、「事業所従業者数」、「認定農業者数」の5項目で『達成』となったほか、「ホッキ貝漁場におけるホッキ空貝の残存量」、「登別漁港屋根付岸壁の延長」の2項目が『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「新製品・特産品開発件数」、「観光入込客数（年間）」、「宿泊延数（年間）」、「連泊率」の4項目については基準値を下回っています。</p> <p>「新製品・特産品開発件数」については、コロナ禍において新製品開発等に注力するための人的・資金的な余裕がなくなっていることなどが要因と捉えています。</p> <p>「観光入込客数」等については、（一社）登別国際観光コンベンション協会と連携した取組や、アフターコロナを見据えた外国人観光客の誘客促進を図る取組などを実施し、実績値は増加傾向にありましたが、令和4年10月まで外国人観光客への水際対策がなされたことなどが要因で基準値を上回りませんでした。</p> <p>コロナ禍の収束に伴う経済の回復及び活性化の傾向にあり、新製品開発の回復が見込まれることから市内事業者の新製品開発に対する意識醸成や補助金の活用を促します。そのほか、国内外の観光需要の動向に注視し、関係団体等と連携し、観光の情報発信や誘客促進などの取組に努めます。</p>	
第4章	調和の中でふるさとを演出するまち
<p>14項目中、「地域地区の見直し回数（期間累計）」、「区域区分の見直し回数（期間累計）」、「景観形成に関する情報発信の回数」、「市営住宅の戸数」の4項目で『達成』となったほか、「市街化区域の市民一人あたりの都市公園面積」、「長寿命化計画に基づく都市公園における遊具の健全度」、「上水道石綿セメント管の更新」、「バリアフリー化した公営住宅の割合」、「既設橋梁の修繕数」、「市道認定路線延長の改修率」、「幹線道路（都市計画道路：国道及び道道を含む）の整備率」の7項目が『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「市内全域の景観に対する満足度」、「公共施設等への草花、樹木の植栽実施町内会数」の2項目については基準値を下回っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、景観・みどりの保全活動や意識啓発などの取組を十分に実施できなかったことや「公共施設等への草花、樹木の直裁」の活動を中止した町内会がいたことなどが要因と捉えています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症へ移行したことから、制限されない景観・みどりの保全活動や意識啓発などの取組を進めていきます。また、感染症等の状況に注視し、各町内会に対し事業の意義を丁寧に説明し参加を呼びかけることで、参加町内会の増加に努めます。</p>	

<p>第5章</p>	<p>豊かな個性と人間性を育むまち</p>
<p>16項目中、「地域学校協働本部におけるボランティア登録者数」、「児童・生徒のボランティア活動、または地域活動に取り組んでいる学校の割合」、「児童生徒の街頭指導件数」、「文化に関心がある市民の割合」、「月に1回以上スポーツ（ウォーキングを含む）をしている人の割合」の5項目で『達成』となったほか、「文化振興事業への参加者数」、「国、道及び市が指定・登録する文化財の数」の2項目で『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「生涯学習事業への参加者数」、「図書館を利用した市民の割合」、「習熟度別指導実施校の割合」、「不登校児童生徒の割合」、「青少年センターによる巡回回数」、「歴史文化施設の入館者数」、「体育施設の利用者数」の7項目については基準値を下回っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各イベントの開催回数の減少や参加者数の減少、各施設の入場者数の制限などが要因と捉えていますが、前年度より実績値が増加傾向の項目もあります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行したことに伴い、各イベントの参加者数や施設の入場者数の制限も緩和されるため、関係団体等と連携を図りながら文化・スポーツの振興に向けた取組の推進に努めます。そのほか、子どもの変化や状況をしっかりと把握し、児童生徒の抱える問題に対して、各学校やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の相談員等と連携し組織的な対策を行うとともに、不登校児童生徒に対しては、ICTを活用した学習支援や児童生徒の状況把握を行い、課題解決に努めていきます。</p> <p>※「一斉学校公開日の来校者に占める地域住民の割合」については、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止としたため『評価なし』としています。</p>	
<p>第6章</p>	<p>担いあうまちづくり</p>
<p>12項目中、「のぼりん通信による周知回数」、「国際理解講座の参加者数」の2項目で『達成』となったほか、「市民自治推進委員会開催回数」の1項目で『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「地区懇談会等開催回数」、「登別市市民活動センター利用団体登録数」、「協働のまちづくりセミナー、研修会の開催」、「姉妹都市等（四五都市を含む）との都市間交流人数」、「移住ワンストップ窓口への相談者数」、「ちょっと暮らし利用者数」、「担いあうまちづくり」の市民満足度、「自己啓発研修の回数」の7項目については基準値を下回っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各種交流会や研修会などの中止などが要因と捉えています。</p> <p>担いあうまちづくりについては、まちづくり意識調査において「まちづくり活動」「移住・定住」「行政財政運営」の順に重要であるという結果がでているため、まちづくり活動団体の活動支援や団体間の連携促進、地域の魅力向上及び発信、事務事業の精査・改善などによる効率的・効果的な行政運営を図るなどの取組を推進していきます。</p>	